

白南中だより

教育目標 創造 挑戦
育てる力 主体性
たくましさ
心の回復力
令和5年5月24日(水)
新潟市立白南中学校 発行

春の疲れと人間関係の再構築、再調整

校長 和泉 哲章

新年度がスタートして2ヶ月が経とうとしています。毎年のことですが、そろそろ春の疲れが出てきた生徒もいることと思います。春は進級や進学に伴って、張り切って生活していますが、うまくリズムがつかめなかったり、無理したりして、調子を崩すことがあります。特に今年は、寒暖の差が大きい日が続き、心身の健康管理にも注意が必要です。体が弱ってくると、気持ちも落ちこんでくることがあります。

また、特に1年生は、小学校と違う環境の中で、これまでとは違う人間関係や立場ができてきています。小学校の時の限られたメンバーから、新しい仲間を加えた40人の集団の中で生活するようになりました。学校時代のリーダーが、社会のリーダーとは限らないと同じように、小学校の時のリーダーが中学校でのリーダーとは限りません。中学校ではさまざまな場面でさまざまな人が助けたり、助けられたりしながら、リーダーとしての役割を果たしていきます。仲間とかかわる中で、自ずとリーダー性がはぐくまれてきます。大人の支えから、仲間同士の支えが大きくなっていくのが中学時代です。もっと言えば、大人がどんなに支えても、自らかかわろうとしなければ人間関係は広がっていきません。生徒自らにそのことに気づかせ、励まし支援していくのが大人の役割です。

私がこの学校に着任した頃、地域の方から「白南中学校の生徒は、卒業すると挫折する。」という話を聞きました。中には「中学校へ行くと挫折する」と言った人もいました。それは本当でしょうか。白南中学校の生徒は、学区に高校がないため、高校に進学する場合、全員が校区外の高校へ進学することになります。全く異なる環境の中で育った、見方や考え方の異なる大勢の仲間と高校生活を送ることになります。今まで出会ったことのないコト、ヒト、モノとの出会いがあります。人は今自分が持っているものの見方や考え方で理解しようとしませんが、それだけでは理解できないことに出会います。そのとき、葛藤が生まれ、困った状況になります。しかし、仲間や大人からのアドバイスや意見交換をとおして、その困難を克服し、新しい見方や考え方を獲得していくのです。それを「成長」と呼びます。葛藤したり、困ったりする状況は挫折ではなく、成長のための大切な過程なのです。

白南中学校区の児童生徒は、幼い頃から少人数の中で、大人たちに大事にはぐくまれ、失敗したり、けんかをしたりする経験が多くありません。そのことが、ちょっとしたことでショックを受け、傷つきやすくなっているかもしれません。学校運営協議会の中では、子どもが落ち込むと、保護者が子ども同様にまたはそれ以上に動揺し、励ましになっていないといった声も聞かれました。白南中学校は、安心して失敗することができる学校です。存分に自分の力を発揮し、失敗したり、叱られたりしてはどうでしょうか。中学校も小学校もそんな考えで教育活動を進めています。

1年生は、今、中学校に入って、人間関係の再構築、再調整が進んでいます。親しい友達が、小学校の友達から部活動の友達に移っている生徒もいます。生徒はもう2ヶ月前の生徒ではなく、着実に成長しています。生徒の成長に大人たちが取り残されないよう、子どもの成長を見守っていきましょう。



〈学力向上を目指した授業づくり〉

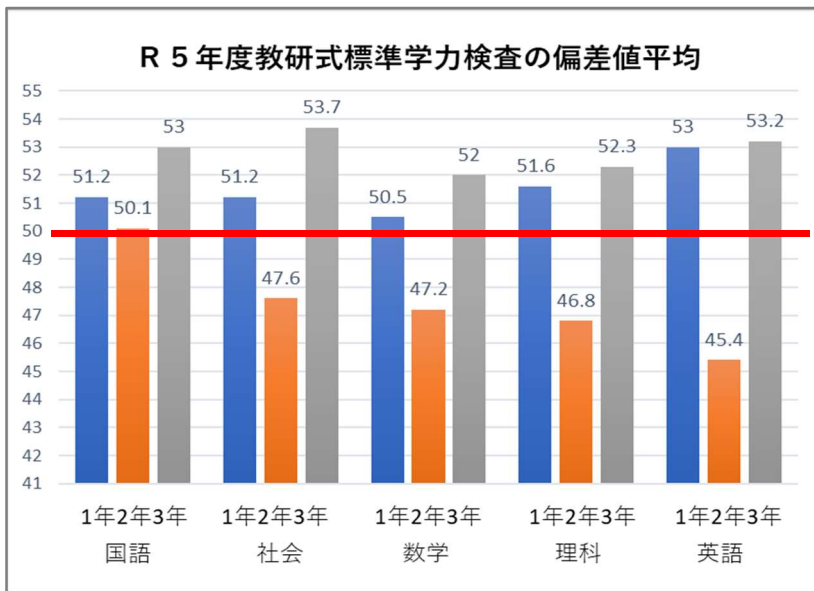
- (1) ねらいと生徒の実態に合わせた「学習課題とまとめ・振り返り」のある授業づくり
- (2) 学習活動の中で、生徒が主体的・協働的に追究する場面を設定した授業づくり
- (3) ICT を活用し、生徒が獲得した知識や学び方を表現するアウトプットを行う授業づくり

〈具体的な実践事項〉

- (1) 「学習課題とまとめ」「振り返り活動」を重視した授業システムを構築する。
- (2) 授業スタンダード10（新潟県中教研）をUDLの視点から自校化
- (3) 話し合い活動・学び合い活動を取り入れた発表力の育成
- (4) 基礎・基本の定着を図るために補充学習・家庭学習の充実

当校では、終学活後10分間「たましんタイム」を設定し、家庭学習の計画を立てさせ、残りの時間はそれに取り組んでいます。家庭学習の充実、当校の課題の一つです。

標準学力検査（NRT）の結果について



2, 3年生は学年末3月に、1年生は4月に標準学力検査（NRT）を行いました。内容は、それぞれ前学年の学習内容です。各学年の教科別の偏差値平均は左のグラフのとおりです。偏差値50が全国平均の目安です。

1, 3年生はすべての教科で全国平均を上回っています。2年生も昨年度に比べ、国語は48.8→50.1、社会は46.8→47.6 というように向上している教科が見られます。今後の学力の向上が期待されます。全体としての学習状況の把握だけでなく、一人一人の生徒の実態を踏まえ、確かな学力の定着のために、指導の改善を図っていきます。

熱中症に注意しながら、6月の市内大会をめざす

季節外れの30℃超えの暑さかと思えば、翌日には10℃も低下するなど、寒暖差の大きい日々が続いています。

部活動では、右のように所属が確定し、運動部は6月の市内大会に向けて練習に熱が入っています。バレーボール部は、部活動の地域移行に向けて、週休日を中心に月潟中や白井中の生徒と一緒に練習しています。また、野球部は、白井中学校との合同チームで市内大会に臨むことになりました。

日々の練習をとおして、技術や体力を向上させ、よいコミュニケーションの中で練習の成果を発揮できるよう願っています。



	1年生	2年生	3年生	部員合計
陸上競技	13	1	12	26
軟式野球	2	0	7	9
バレーボール	5	7	9	21
男子ソフトテニス	5	8	9	22
女子ソフトテニス	8	10	5	23
総合文化	5	1	1	7
(水泳)	0	1	0	1
無所属	2	3	2	7
学年合計	40	31	45	116